

4/27 春の野草や野鳥を観察 春を楽しむ会

多 彩な植物や野鳥の観察ができる月浦森林自然公園の魅力を知ろうと「いきいき教室春を楽しむ会」（いきいき教室／NPO法人森・水・人ネット主催）が同公園で、町民や同ネット会員34人が参加して行われました。当日は同ネット5人の案内で、エゾエンゴサクなどの野花やウグイスなどの野鳥を観察。木村益巳代表は「周辺の森林公園の中で一番。とても自然度高い」と同公園を絶賛していました。



木村代表から説明を受ける参加者

4/22 春の観光シーズン到来 町内一斉清掃実施

本 格的な春の観光シーズンに向けて「綺麗なまちで観光客をおもてなししよう」と春の町内一斉清掃が、蛇田地区、洞爺地区、洞爺湖温泉地区でそれぞれ行われ、各家のまわりや道路などを清掃しました。

当日はNPO法人洞爺まちづくり観光協会でも、会員約30人が、とうや水の駅に集合。湖畔のごみを拾い集めたり、湖内のブイの点検などを行い、観光客を迎え入れる準備を整えました。



清掃に取り組む洞爺第1自治会の皆さん

4/28 幅広いジャンルの作品 おうすこう 王子江 水墨・墨彩画展

春 の特別展「おうすこう 王子江 水墨・墨彩画展」が、洞爺湖芸術館で、4月28日から5月27日の期間、開催されました。同館の開館10周年を記念したもので、浦臼町が所蔵する作品29点を展示しました。

オープニングセレモニーでは、斉藤純雄浦臼町長が「町では、いろいろな人に見てほしい」と思い、今回、洞爺湖町での開催が実現しました。この素晴らしい絵を多くの人たちに鑑賞してほしい」とあいさつしました。



来場者の目を楽しませる水墨・墨彩画展

4/27 洞爺ライオンズクラブ 地域健康セミナー開催

洞 爺ライオンズクラブが、地域健康セミナーを蛇田ふれ合いセンターで開催しました。約80人が参加し、2人の専門医の話に聞き入りました。

講演したのは、聖ヶ丘病院の目良浩一院長と洞爺湖温泉病院の中谷玲二院長。

中谷院長は「がんになっても困らないために」と題し、治療を受けながらもいかに自分らしい生活を送るのかを、緩和ケアの実状から分かりやすく述べました。



専門医の話に耳を傾ける参加者

5/13

こども体験の日合同イベント ドイツゲームや縄文体験に夢中

こども体験の日合同イベントとして「あそびフェスタ in とうや湖&縄文の日体験事業」が午前と午後に分かれて行われ、36人の子どもたちがゲームや縄文体験などを楽しみました。

午前中にあぶた母と子の館で開催されたあそびフェスタは、ドイツゲームやけん玉などの昔の遊びを体験しました。午後からは入江・高砂貝塚館で石器や勾玉づくりなどを行い、楽しい1日を過ごしました。



ドイツゲームで盛り上がる子どもたち

5/12

交通安全協会洞爺湖支部 パークゴルフで交流

洞爺湖町交通安全協会洞爺湖支部(成田幸一支部長)パークゴルフ大会が、洞爺湖温泉にあるセンターパークゴルフコースで、会員の親睦と交流を目的に行われました。33人が参加し、葛西和彦さんが優勝しました。競技は、4人1組を基本に36ホールストロークプレイの個人戦で実施され、熱い戦いが繰り広げられました。

結果は次のとおり。1位 葛西和彦さん 2位 菊地英喜さん 3位 富山紘一さん



交流を深めた交通安全協会洞爺湖支部の皆さん

5/21

大きくなって戻ってきてね 洞爺湖にサクラマス放流

洞爺湖漁業協同組合(篠原功組合長)が毎年実施しているサクラマスとヒメマスの放流が、とうや小学校と洞爺湖温泉小学校の児童を招き行われました。今年は各小学校で、約4〜5歳のサクラマスとヒメマスの稚魚合わせて約1万3千匹を放流しました。洞爺湖温泉小学校では同小近くの湖畔で、2年生8人が参加。児童は「おおきくなってね」と願いを込めて放流し、4年後の成長を楽しみにしていました。



洞爺湖にサクラマスの稚魚を放流する温泉小の児童たち

5/16

優しい心を育む 洞爺湖温泉小学校に人権の花寄贈

札幌法務局室蘭支局関係者と洞爺湖町人権擁護委員が洞爺湖温泉小学校を訪れ、花の苗99株を贈呈しました。花を栽培しながら、思いやりの心を育んでもらうことを目的とした「人権の花運動」の一環です。

当日は、同小1・2年生の児童8人が、友遊クラブの会員5人と学校前花壇に贈呈されたパンジーなどを植栽しました。児童代表の福原絢乃さんは「枯れないようにがんばって育てます」と感謝の言葉を述べました。



温泉小の児童と友遊クラブの会員たち